



いじめの指導と人間関係づくり

校長

「いじめ」というと、一定の年齢以上の方は、「強い立場の人が一方的に・・・」とか「大勢で継続的に嫌がらせを・・・」というイメージがあると思いますが、今のいじめの定義は「相手の行為によって、心身の苦痛を感じたら、いじめ」というものです。

ですから、それは「いじめ」じゃなくて「けんか」でしょ、とか、「人間関係のトラブル」でしょ、ということではなくて、けんかも、人間関係とのトラブルも「いじめのひとつ」という捉え方です。それどころか、ごく日常的な会話でさえ、ちょっと相手への配慮が欠けたために、相手が「傷ついた」としたら、それは「いじめ」なのです。

従って、いじめの調査とか相談・指導というのは、「人間関係の作り方を学ぶ」という考え方で、「こんな言い方されたら傷つくよね。」とか「こういう態度は、嫌な感じだね。」というようなことを丁寧に説明し、双方の納得を得ながら「今回のケースでは、こんな対応をするとよかったね。」という段階までもっていくことが大切です。

学校生活のアンケートには、担任が取りまとめをしているものと、教頭が取りまとめをしているものがあります。教頭が取りまとめをしているのは、担任の先生に言いづらい内容も書けるように、との配慮からですが、教頭一人で300人以上のアンケートを読み解き、必要に応じて指導をしていきます。

低学年と高学年では、記述の内容も変わってきます。低学年のアンケートには「○○ちゃんにこんなことされて、嫌だった」というような記述がたくさんあります。それを一つ一つチェックし、聞き取りをしていきます。1・2年生だと詳しい内容を言えなかったり、覚えていなかったり、ということもあります。詳しい内容を覚えていなくても「嫌な気持ちになった」ということは記憶に残るんですね。

できる限り詳しく聞き取りをした後は、相手の子にも聞き取りをします。このときも記憶は曖昧なことが多いです。もちろん「まずかったな。」「これ言ったら、怒られるかな。」という思いから本当の事が言えない場合もあるでしょう。不確かな内容について、双方の気持ちを整理していく作業は、本当に大変です。聞き取り作業自体が「いじめ」認定されてしまいそうな場合もあり得るわけです。

私は中学校畑ですが、小学校でこのような地道な作業を丁寧に行っているからこそ、中学生になる頃には、相手への配慮ができたり、みんなにとってより良い提案ができたりするようになるんだな、と感じます。

最近は友達同士で遊んだり、ましてや異学年で集団をつくって遊んだりすることが少なくなりました。だからこそ学校の中で、対人関係を上手につくっていくことを学ばせる意味が大きくなっています。

ご家庭においても、積極的に人と関わる場を設けることで、子どもの経験値を上げていただきたいと思います。

まずは、家族で話をする時間を確保していただくことが大切であると感じています。併せて、極めて現代的な課題であるSNSを上手に使う上でのルールについても、親子で共有していただけると幸いです。

4月を振り返って

入学式



4月9日(火)に入学式を行いました。101名の新入生は堂々と入場し、立派に返事ができました。児童637名でのスタートです。



避難訓練



4月11日(木)に避難訓練を実施しました。机の下への避難や教室からどのように避難するのか確認しました。どの児童も真剣に取り組みました。

陸上部結団式



4月12日(金)に体育館で、陸上部結団式を行いました。5・6年生の参加児童は、自分の目標を定めて決意を新たにしていました。

1年生交通安全教室



4月26日(金)市の職員、警察、交通指導員の方々のご協力のもと、交通安全教室を行いました。安全に気を付けながら、学校周辺道路を歩行しました。

登下校について(お願い)

1 登下校の歩き方

令和5年3月から、中央小学校の学区内に、児童生徒及び近隣住民の安全確保を目的として、「ゾーン30」(自動車等の通行速度30km規制)が設置されました。この規制により歩行者の安全について関心が高まると思われますが、学校では、安全のため、「歩行者用レーン(グリーンベルト)を縦一列で歩く」指導を繰り返し行っています。ご家庭でも安全な歩行について、親子の会話の話題にしてください。

2 児童の送迎

諸事情により、車で児童を送迎する場合には、児童の安全を最優先し、付近住民の迷惑や交通渋滞とならないよう、学校周辺の乗り降り(特に学校北側一方通行道路)を避けるようお願いします。体育館側からの送迎は、原則、ご遠慮いただいております。やむを得ない場合には、学校にご相談いただきますようお願いいたします。また、遅刻・早退等で送迎が必要な場合は、保護者の方は職員玄関までおいでください。

ホームページでは、学校だよりをカラーでご覧いただけます。
右のQRコードもご活用ください。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/index.html>

